



## Change! 2022 ニュース No. 3

Change! 2022 推進委員会 2019. 9. 15 発行

### ▼ 会員増強に思う

## オー!! ワイズメン !! 「絆・繋がり・結」

甲府21ワイズメンズクラブ

直前会長 野々垣 健五



甲府21ワイズメンズクラブ（以下「21」といいます。）は甲府クラブによりチャーターされて、今日に至っております。

数年前迄の私はチャーターメンバーとして会費は納めていましたが、東京における仕事に追われて幽

霊会員の存在でした。

平成25年頃になって、私の東京での仕事量が減り、次第に地元での活動に復帰する形で「21」に関わる様になりました。当時の「21」のメンバーは16名位でした。この時期に山梨YMCAの会館移転問題が持ち上がり、その解決に向けて私も仲間に入れていただき、今日迄の活動に至っております。

私個人の見解ですが、「21」はハイスクール、YMCAの先輩、同期が大勢いる事が基盤にあります。又、クリスチャンとノンクリスチャンのバランスが良く、「絆」を感じるクラブであり、淡々とプログラムを消化する模範的雰囲気を感じるクラブでありました。私もメンバーを増やす事等は考える事もなく、淡々と活動していましたが、上部組織の会合に出席する機会を得て、「皆さん、良く頑張っているなあ」と夫々のクラブによって醸し出される熱気を感じると同時に、YMCA新会館完成の目標達成の為には、仲間が一人でも多い方が組織力がアップするに思い到りました。

それからは、知人、友人、取引先の中から協力者

をピックアップしてその方への声掛けで誘いの輪を広げ、「結」の仲間の同級生から情報を収集し、仲間になりたい方と食事やお茶タイムを持つ等、メンバーが協力して仲間の増員を図りました。

その結果、現在は34名のメンバーに加え、9月には更に2名増が予定されています。「21」の特性の一つは、旧メンバーと新メンバーとの関係性がとても良い所にあります。これは個々のメンバーの人格と、年毎に中心になってくれるメンバーのリーダーシップによる所が大きく、「21」の今後の飛躍を左右する大事な要点であります。

今は、山梨の良さでもある「町は小さいけれど、一人一人の繋がりを大事にする社会」であるのが「ワイズ」であります。この先は、「日本一の人数のクラブ」、「天寿を全うする迄誰も辞めない、高い出席率のスーパークラブ」を目指してつなげていきたいと念じています。

### 《 野々垣健五さんのプロフィール 》

甲府21ワイズメンズクラブのチャーター年度1990年11月より参加。(1943年6月5日生)

甲府21の2018-2019年度の会長を務める。

2015年度より順次会員候補者に呼びかけ、毎年2~4人ほどを勧誘、2019年9月において、2015年の16人体制から35人体制へと、メンバー・仲間の増加に努めている。しかもその甲府21活動においてはクリスチャニティ、活動における団結力、YMCA活動への貢献へとクラブが活動できている。

経歴は、2012年8月まで(株)岡島(百貨店業)勤務。2013年から(故)船井幸雄氏(2014年1月逝去)率いる(株)船井本社勤務、今日に至る。

東京、山梨と動き回り、公益財団法人山梨YMCA理事、学校法人山梨英和学院常務理事を務めている。

## ▼ 新入会員からのメッセージ

## ▽ 泉名寺 みずほ さんのメッセージ ▽

熱海クラブ 第1号女性会員

フェイスブックで勧誘された熱海クラブ女性第一号会員の「泉名寺みずほ」です。

現実ではほとんど交流したことがない、面識のないフェイスブック上の友達から突然メッセージが届いた。その方は鼻の下にちょっとエッチなひげを生やしており、ご本人は“夏目漱石”と自称されているようだが、私が評するに“空港では必ず引っかけりそうな”人相の持ち主である。

しかもプロフィールをみれば、写真はクレー射撃をしている姿だし、最終学歴はブルガリア国立ソフィア大学。どこかの女性とオープンな関係を築かれているという、やっぱりとにかく怪しいおじさんなのである。

メッセージの内容はこうだ。「熱海ワイズメンズクラブに初めての女性会員として入会してください。」ワイズメンズクラブとくれば、熱海市内では他のどの社会奉仕団体より人数も多く活動も活発であり、多くの重鎮たちも名を連ねている有名なクラブである。勧誘者は不思議なおじさんであっても、団体は素晴らしく評価をされているし、なにより熱海では女性初、とか、みんなが期待している、と言われれば、私のハートもくすぐられる。しかも「メンバーのほとんどが仏教徒だから、今宮神社の宮司であるあなたも OK。」ということで、もうなんの迷いもなく？「入会します」とメッセンジャーで答えたのだった。まあ、私は頼まれたら大概の事は引き受けるお調子者の類ではあるのだが。

若い世代は SNS をきっかけに出会い、現実でも対面して交流することによりあまり抵抗がないと聞く。これからの勧誘は、対象者に日参してお願いするだけでなく、このようにフェイスブックなどを通してメッセージを伝えていくことも一手段なのではないだろうか。ワイズメンズクラブってどんな団体なのだろう？という疑問にも即座に回答できるよう、クラブのフェイスブック、ホームページからの発信も充実させ、きっかけの扉をたくさん用意することが、会員増強にも繋がってくると思う。

ところで件のおじさんであるが、本名を札埜慶一さんといい、東日本区でも活躍するスマートな紳士であった...



## ▼ わがクラブの会員増強

## ◆増員大作戦！

東京江東ワイズメンズクラブ会長

山崎 常久

今年は新入会員 10 名を目標に掲げます。

具体的に次の作戦を考えました。

**現状：**高齢化に伴いメンバーは減少の一途。一方、これまでの地道な活動で幼稚園児保護者との距離は近くなっている。

**ターゲット：**距離の近くなった幼稚園児保護者と、とうの立ったリーダーOB（江東センター関係者）

**具体的作戦：**①ワイズメンである事のメリットを改めて言葉として焙り出してそれをメンバー全員に再認識させ、誰に聞かれても同じ言葉でメリットのみを繰り返し強調して興味を持ってもらう。  
②今までの活動で目星をつけてきた人達には、その言葉で強く背中を押す。迷っている人には「叩きなさい、されば扉は開かれん」と耶蘇っぽく迫る。  
③まずは 3 名に入ってもらったら、そこから芋づる式に人を入れてもらう。  
④月 5 千円の会費を 30 代 3 千円、40 代 4 千円、50 代以降 5 千円と下げることで、入会のハードルを下げた。

なんてことを実行していこうと考えています。

## ◆退会会員を大切に！！…東京ひがし

東京江東ワイズメンズクラブ

香取 良和



東京ひがしクラブは、設立当時より退会者にも温かいクラブでした。

退会後もブリテンの送信は絶やさず、館外例会や主たるプログラム、新年会、忘年会、納涼例会等には必ず声掛けをしています。

今期、飯田歳樹会長は 5 名の増員を目標に掲げ、早くも 4 名は 7 月中に決まったそうです。

其のうち2名は再入会者です。うち1名は、元東京江東クラブから東京ひがしクラブへ、1988年のチャーター時に移籍したメンバーで、今年の3月に町会長を退任され、時間が取れるようになったので、退会后16年もブリテンを送り続けてくれ、安曇野など館外例会にも誘ってくれる東京ひがしクラブに再び入会する事でお役にたてれば……と私にも連絡がありました。

若い人が理想ですが、超高齢化時代の今、高齢者の生きがいになるのもワイズに必要かも？

### ▼「フェイスブック」ページが出来ました

会員増強事業主任 札埜 慶一（熱海）

#### ▽ 石巻広域クラブのトップページ

<https://www.facebook.com/ishinomakiys/>



#### ▽ 東京グリーンクラブのトップページ

<https://www.facebook.com/東京グリーンワイズメズクラブ-101080014594611/>



#### ▽ 横浜つづきクラブのトップページ

<https://www.facebook.com/ys.yokohama.tsuzuki/>



### ▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 札埜 慶一（熱海）

Change! 2022 ニュース No.1 および No.2 で、7月の入会者をご紹介しますでしたが、漏れていた方を加え、紹介者も含めて改めてご紹介いたします。（敬称略）

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	清水 仁	(熱海)	(再入会)
2.	野々垣 和宏	(甲府21)	野々垣 健五
3.	山本 俊一	(甲府21)	野々垣 健五
4.	並木 真	(東京八王子)	並木 信一
5.	土屋 健治	(下田)	土屋 誠
6.	林 茂博	(横浜つづき)	(再入会)
7.	松本 ふさ	(東京サンライズ)	御園生 好子
8.	今井 一夫	(東京ひがし)	飯田 歳樹
9.	福石 堅太郎	(沖縄)	溝口 誠(京都トウバー)
10.	福田 淑子	(三島)	青木・大村・藤田
11.	秋田 敬	(御殿場)	堀口 廣司
12.	小野 絢子	(御殿場)	前原 末子
13.	勝又 英博	(御殿場)	堀口 廣司
14.	矢地 信行	(御殿場)	芹澤 次子
15.	奥平 直子	(熱海)	深澤 勇弘
16.	後藤 雄一	(熱海)	泉明寺 みずほ

▼ 8月には、下記の4人の入会者がありましたので、ご紹介します。

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	小泉 一真	(長野)	小林 美彦
2.	吉田 慧美子	(鎌倉)	千葉 裕子
3.	飯田 祐基	(東京ベイサイド)	久保田 健太郎
4.	山口 孝裕	(東京ベイサイド)	久保田 健太郎

▼ 9月には、下記の方々の入会が予定されています。

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	及川 大樹	(東京ひがし)	飯田 歳樹
2.	野澤 一弘	(東京ひがし)	飯田 歳樹
3.	北条 裕子	(東京ひがし)	飯田 歳樹
4.	佐藤 利之	(甲府21)	野々垣 健五
5.	宮岡 宏美	(甲府21)	米長 晴信

### Change! 2022 シンポジウム(仮称) 開催決定!

日時：2020年2月1日(土) 13:00~17:00  
会場：東京YMCA社会体育・保育専門学校  
(東京メトロ東西線 東陽町駅 5分)

## ▼ 西日本区では…

## 西日本区 会員増強情報

## ワイズ将来構想特別委員会委員長

森田 恵三（京都部・京都ウエスト）



ワイズメンズクラブ西日本区では東西ワイズが分離後独立した1997年以来20年、会員の減少傾向（1997年1952人→2019年1439人 -26.3%）（東日本区1246人→849人 -31.9%）と高齢化に対し、「これでいいのかワイズメン！ほっとけない！」との思いを将来の危機意識として、2016年7月に「ワイズ将来構想特別委員会」が設立されました。

組織としては同委員会の通常委員のほかにEMC、LD（東日本区のLTに相当）、広報・情報など関連する委員会の事業主任を拡大委員としています。同委員会の狙いは会員減少傾向に歯止めをかけ、発足時のワイズ力を取り戻し、さらなる発展に向かって将来像を描くには「新生ワイズ起こし運動」を立ち上げて単年度制ではない継続性を重視し、かつ強い使命感を維持しうるための委員会であり、「新生ワイズ起こし運動の本部」となって部の実働チームと強い連携を図りつつ、2022年に会員数2022人達成を目指すものであり、下記の西日本区ビジョン（ワイズの未来に向かっての理想像）を作成しました。

### — 誇りと情熱をもって社会に貢献する前向きで逞しいワイズ —

愛と奉仕の精神を基盤とし、会員相互に切磋琢磨して高め合い、楽しく付加価値の高いクラブ活動を展開し、誇りと情熱をもって社会の貢献に務め、内外から認知され評価される良質な奉仕クラブを目指したい。

上記趣旨などを理事通信や区報などに掲載、DVDを作成し各クラブに配布して広報に務め、今月には「新生ワイズ起こしニュース」も発行できました。

活動資金は今年度分として300万円の同運動特別資金が設けられました。運動のスローガンを公募した結果、優秀作品として「ワイズ100周年！輝く歴史を未来まで」が選出され、大野勉・元西日本区理事の作詞作曲になる「新生ワイズ起こしソング」も作成されて、部会などで歌えるようになりました。

東西両区が共に協力し刺激し合いながら、質量俟った会員増強を果たして、2022年に迎える国際ワイズ100周年、東西両区25周年記念を盛大に祝えることを期待して共に励もうではありませんか。

## EMC事業主任を2期務めて

## —しなやかなアイデアを出そう—

2015-16年度・2018-19年度

西日本区EMC事業主任

小野 勅紘（六甲部・西宮）



直前期2度目のEMC事業主任の活動を終えて、今期、牧野篤文 EMC事業主任（京都部・京都トップス）にバトンタッチしました。

前期は九州部（27名）と中部（19名）に新クラブが誕生しましたが、全体として前年

の1,464名から、1,439名と25名減少しました。

西日本区が東西に分かれて23年、毎年減少傾向が続いております。主な動機はいったい何処にあるのでしょうか。私は「一身上の都合」や「自己都合」の中に真の動機であり、対策が秘められているように思います。

危機的な状況を打開するために、3年前にEMC事業を含むワイズの将来構想の在り方を模索する“ワイズ将来構想特別委員会（森田委員長）”が発足し、活動が継続されています。この活動は各部にブレイクされています。

前期事業通信の中で、私は“まずワイズにおける「違い」を認め合おう”と訴えました。その上で体験を共有していこうとも訴えました。

あるワイズのメンバーで現役の牧師である方の話では、日本人のコモンセンス（常識）のセンスが1995年位から変わってきているのではないかと言われます。あの忌まわしい「オウム真理教事件」で「宗教は怖いものだ」というイメージが植え付けられ、そのマインドが影響しているそうです。他の宗教も減っているとか。

西日本区全体を俯瞰してみますと、部によってワイズに対する認識の差があります。部やクラブを超えた活動が望まれます。

そういった壁をなくすために、もっとアイデアを出して工夫して行こうではありませんか。